

### 代表質問(要旨)

## 医療施設などの耐震化は 国の交付金などを活用した耐震化促進

佐藤光雄議員(民主)

多くの命を預かる医療施設や社会福祉施設の耐震化は優先的に進めるべきである。また、大規模停電時にも十分な医療を提供できるよう、国の補助対象外の中小規模の医療施設の電力確保に取り組むべきではないか。

知事 国の経済対策により創設された臨時特例交付金などを活用し、災害拠点病院や二次救急病院、障害者施設などの耐震化を促進していくほか、老人福祉施設は県単独の助成により進める。また、自家発電装置の整備について、国庫補助制度の拡充を要望している。

議員 若年者の雇用情勢は大変厳しく、新卒時に正規雇用の職に就けないと、非正規のまま働かざるを得ない状況である。

フリーターの正規雇用化など若年者の雇用対策は。

知事 新卒者対象の就職面接会や、高卒・大卒などの未就職者を雇用しながら就職支援を行う事業などを実施している。非正規雇用者には、県内六か所の就職支援センターでキャリアアカウンセリングや職業紹介などの総合的な就職支援を行っている。一人でも多くの若者が安定した職に就けるよう産業振興策なども含めた雇用対策に取り組む。

議員 農林水産物の安全・安心を確保するためには、放射性物質検査の正確な情報をわかりやすいかたちで消費者に伝えること、公表されたデータからリスクを判断するため、の正確な知識を消費者に身につけていただくことが重要だ

## 津波浸水想定区域図については あらゆる可能性を考慮した最大級の津波 について検討し早期に見直しを図る

高崎進議員(公明)

本県の津波浸水想定区域図は、延宝房総沖地震を想定して作成された。歴史の教訓を踏まえ、海岸部の詳細調査を行うなど、見直しが必要と考えるがどうか。日本原子力発電(株)東海第二発電所の運転再開には、県民の不安払拭が第一。運転再開についてどう考えるのか。

知事 専門家による委員会を新たに設置し、あらゆる可能性を考慮した最大級の津波について検討してもらおう。その検討結果や今後公表される国の中

中央防災会議の報告などを踏まえ、津波浸水想定区域図の見直しを早期に図っていく。東海第二発電所の運転再開については、今後、原子炉や地震・津波の専門家などからなる県原子力安全対策委員会の検証結果や、県原子力審議会の意見、国や他県の動向などを踏まえ、県議会や地元自治体と十分に協議して判断していく。

議員 県民などからの寄附金十七億円を積み立てた震災復興基金が創設されるが、その規模や活用の仕方は十分ではないか。

知事 被災者生活再建支援制度など、国の制度の対象にならない被災者支援策へ活用すべき。知事 今後、国の支援を前提に、被災者生活再建支援制度の対象とならない住宅被害への助成や、国庫補助の対象とならない医療施設などの復旧に対する補助など、既存の制度では対応できないような被災者支援対策への活用について検討する。



国の交付金を活用した病院の耐震化工事の様子

が、その対策は。知事 さらなる安全確保のため、環境放射線監視センターへのゲルマニウム半導体検出器の追加導入や市町村の簡易分析機器導入支援などを九月補正予算案で措置した。消費者の安心確保のため、県ホームページの検査結果の表示方法を工夫したり、講演会の開催・学習会への県職員派遣などできめ細かに対応する。(ほかに、知事のマネフェストの達成状況及び復興に向けた決意、官製談合問題なども質問)

## 境特別支援学校のコンセプトは 地域の資源を活用し働く力を育成

日井平八郎議員(自民)

平成二十四年四月に開校する境特別支援学校には、特別支援教育のセンター的機能を備えながら農園芸など地域資源を活用した特色ある学校づくりを望む。

教育長 同学校では、働く力の育成を学校づくりの中心にすえて準備を進めている。広大な敷地を活用して野菜や草花などの農園芸の作業学習に取り組み、その際には、周辺の農家の方々には作物栽培の指導などをお願いし、近隣の企業や商店には、現場実習の受入れにも積極的に協力いただくことを考えている。

議員 大震災で橋りょうが通行止めになるなど県民生活に大きな支障が生じ、改めて筑西幹線道路を早期整備する重要な

性が認識された。仮称鬼怒川新橋の完成時期と、鬼怒川右岸から国道一五五号に至る区間の状況も含めた本路線の整備見直しは。

知事 国・県・市が連携して事業を進めており、一本松茂田線や柳橋恩名線、小貝川の橋は平成二十年代中頃の供用を目指している。仮称鬼怒川新橋は十一月下旬に鬼怒川大橋として供用する見込み。鬼怒川大橋から国道一五五号に至る区間は平成二十四年度の用地取得着手に向け関係二市町と取り組んでいく。

議員 二〇二〇年夏季オリンピックに東京都が立候補したことが、大震災復興のシンボルとして実現させるためには国民が一つになることが不可欠。茨城県には、東京都と東北地方とを結



津波による甚大な被害(大洗町)

の利用が可能になった。今後、有識者による検討会を立ち上げ、情報提供のあり方や施設整備の方向性などについて検討していく。(ほかに、学校・警察施設の耐震化、文化芸術の振興なども質問)

### 茨城県産米の安全性が確認されました

県では福島第一原子力発電所事故を受けて、県内44市町村359地点で、平成23年産米の放射性物質検査を実施したところ、**すべての地点において暫定規制値(放射性セシウム 500 ベクレル/kg)を大幅に下回り安全性が確認されました。**安心しておいしくお召し上がりください。

※農林水産物の放射性物質検査結果は、茨城県のホームページ(<http://www.pref.ibaraki.jp/>)で公開されています。

### 胸像の設置

8月1日、山口武平県議会名誉議員から県議会に同議員の胸像(日本芸術院会員 能島征二氏制作)が寄贈されたので、同議員の功績の紹介とともに、議会PRコーナー(1F)に設置しました。

### 絵画の寄贈

8月29日、日展評議員の洋画家磯崎俊光氏から県議会に絵画「森影(しんえい)」(サイズF130号)の寄贈があり、議員室に掲額するとともに、田山議長から氏に対し感謝状を贈呈しました。



来春開校する境特別支援学校(境町)

ぶ役割が期待される。東京開催への期待と招致支援の考えは。知事 本県開催の国体の翌年にあたり、トップアスリートの新たな目標としてスポーツ振興に貢献する。都から要請は来ているが、仮に東京で開催されれば、本県にも競技会場やキャンプ地などの利用のほか、観光振興や地域の活性化などの効果が期待される。招致には積極的に協力していきたい。(ほかに、中国天津市との環境協力、茨城空港の就航対策、新規就農者の育成なども質問)